特別口座で株式を保有されている株主様へ

株券電子化制度の開始により、当社の単元未満株式（1,000株未満）を登録株式としてお持ちの株主様を中心に、**「特別口座」**が開設されています。**特別口座に登録された株式は証券取引所で自由に売買することができません。**そのため、対象の株主様には以下のお手続きをおすすめしています。

単元未満株式の買取請求 ～単元未満株式（1,000株未満）をお持ちの場合～

1,000株未満の株式をお持ちの株主様は、単元未満株式の買取請求をご利用いただけます。
本制度をご利用いただくと、お持ちの単元未満株式を手数料無料で当社に売却いただけます。
お手続きは三菱UFJ信託銀行までお問合せください。

※買取価格は、買取請求書類が三菱UFJ信託銀行に到着した日の終値となります。

証券口座への振替 ～単元株式（1,000株以上）をお持ちの場合～

特別口座に登録された株式を証券口座に振り替えていただくことができます。
証券口座に振り替えた単元株式は、証券取引所で自由に売買することができます。
振替に必要なお手続きはお取引の証券会社までお問合せください。

※証券口座をお持ちでない株主様は、新たに証券口座を開設していただく必要があります。お手続きは最寄りの証券会社までお問合せください。
※単元未満株式についても証券口座へ振り替えていただくことができますが、証券取引所では自由に売買することができません。

Q 特別口座が開設されたかどうかわかりません。

A 三菱UFJ信託銀行までお問合せください。特別口座の開設状況や必要なお手続きを通話料無料でご案内します。

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部　0120-232-711（東京）　0120-094-777（大阪）

ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080
VEGETABLE OIL INK

JGC 日揮株式会社

証券コード：1963

第120期 株主通信

2015年9月期 2015年4月1日～2015年9月30日

決算ダイジェスト（連結）

売上高

120期
4,361億円
第2四半期（累計）

119期
4,010億円
第2四半期（累計）

前年同期比 8%増

親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益

120期
319億円
第2四半期（累計）

119期
254億円
第2四半期（累計）

前年同期比 25%増

受注高

120期
629億円
第2四半期（累計）

119期
5,732億円
第2四半期（累計）

受注残高

120期
1兆4,096億円
第2四半期末

119期
1兆7,647億円
期末

※契約金額の修正・変更および為替変動による修正を加えております。

ご挨拶

株主の皆様には、日頃から日揮（JGC）グループをご支援いただき、心から御礼申し上げます。
ここに、2015年9月期（2015年4月1日～2015年9月30日）の株主通信をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

2011年4月からスタートした中期経営計画「NEW HORIZON 2015」も今年でいよいよ最終年度を迎えました。現在日揮グループが置かれている事業環境は、引き続き不透明な状況にありますが、「NEW HORIZON 2015」で掲げた目標の達成に向けて、最後まで懸命に努力してまいります。

日揮グループは、設計・調達・建設（EPC）事業を主体としつつ、強みを活かせる分野における事業投資や企画・マネジメントサービスを推進し、顧客とともに新たな価値を創造する「Program Management Contractor & Investment Partner」を志向し、グループ会社一丸となって邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも、一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役会長
佐藤 雅之

代表取締役社長
川名 浩一

株主の皆様へ

業績報告

日揮（JGC）グループを取り巻く事業環境は、昨年末の原油価格の急落を受け、産油・産ガス諸国および大手石油会社等が設備投資計画の一部を見直しており、先行き不透明な状況が続いております。

このようなマーケット環境のもと、コスト管理を徹底し、確実なプロジェクト遂行に努めた結果、日揮グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高4,361億円、営業利益274億円、経常利益291億円、親会社株主に帰属する四半期純利益319億円となりました。また、同累計期間における受注高については、629億円となりました。

単位：石油換算 100 万トン
出典：World Energy Outlook 2014

長期的視点でマーケットの変化に対応

2015年度のエンジニアリングマーケットについては、人口増加や経済成長を背景に、新興国における潜在的なエネルギー需要は依然として高く、一部の国や地域では国内需要に対応する石油・ガスの設備投資計画は着実に実行されるものと予測しています。

とりわけ、中国やインド等の膨大な人口を抱える大国を筆頭に、東南アジア、中東および南米等の新興国は引き続き成長路線を歩んでいくことが予想され、エネルギー需要は中長期的に拡大するものと思われます。

日揮（JGC）グループは、このようなマーケット環境において、東南アジア、東アフリカで計画中のLNG案件に加え、石油精製、ガス処理、石油化学等の非LNG案件および日本国内案件の受注を目指しております。また、将来の設備投資の具体化のための基本設計役務の獲得、事業計画の実現に資する顧客へのサポート等、将来の大型プロジェクトの受注に繋がる活動も積極的に展開してまいります。また、遂行中のプロジェクトについては、きめ細かい管理を以前にも増して徹底し、利益の確保に努めます。2015年度後半も、受注目標および業績見通しの達成に全力を尽くしてまいります。

マレーシアにおいて日揮が遂行中のLNGプラント増設プロジェクト

Topic

海外グループ会社の挑戦

サウジアラビアにおける大型プロジェクトの成功

サウジアラビア初の設計・調達・建設（EPC）会社であるJGC Gulf International Co., Ltd.（JGCガルフ社）が主導で手掛けた石油化学プラントが完工しました。

本プロジェクトはJGCガルフ社にとって初めての現地採用の外国人社員を中心に遂行する大型プロジェクトでしたが、顧客から工程管理、安全および品質管理等の分野で高い評価を得て成功裏に完工することが出来ました。

海外グループ会社の成長

JGCガルフ社員の国籍は15か国にも及び、それぞれ宗教や文化、価値観は異なりますが、多様性を尊重しチーム一丸となってプロジェクトの完成を目指す日揮の企業文化がJGCガルフ社でも醸成され、今回の成功を生み出しました。

JGCガルフ社は今後も確実にプロジェクトを遂行し、中東マーケットにおける日揮（JGC）グループの存在感をさらに高めてまいります。

日揮グループのさらなる飛躍のためには、世界中に拠点を構えるグループ各社が確実に業務を遂行し、より多くの顧客の信頼を勝ち取りながら各地域の経済発展を担う形で成長することが重要です。

今後も、日揮グループは一丸となってグローバルな企業グループとしての成長を目指し邁進してまいります。

JGCガルフ社が手掛けた石油化学プラント

連結財務諸表

四半期連結貸借対照表（要旨）

（単位:百万円）

科　目	前期末（2015年3月31日現在）	当第2四半期末（2015年9月30日現在）
（資産の部）		
流動資産	533,538	485,854
固定資産	186,216	191,708
有形固定資産	78,560	76,631
無形固定資産	16,084	16,201
投資その他の資産	91,572	98,875
資産合計	**719,754**	**677,562**

科　目	前期末（2015年3月31日現在）	当第2四半期末（2015年9月30日現在）
（負債の部）		
流動負債	286,533	223,472
固定負債	44,724	40,627
負債合計	**331,257**	**264,100**
（純資産の部）		
株主資本	378,784	405,337
その他の包括利益累計額	8,696	7,198
非支配株主持分	1,016	925
純資産合計	**388,496**	**413,461**
負債純資産合計	**719,754**	**677,562**

四半期連結損益計算書（要旨）

（単位:百万円）

科　目	前第2四半期（累計）自 2014年4月 1日 至 2014年9月30日	当第2四半期（累計）自 2015年4月 1日 至 2015年9月30日
売上高	401,005	436,199
売上原価	359,205	397,871
売上総利益	41,800	38,328
販売費及び一般管理費	10,794	10,844
営業利益	31,005	27,483
営業外収益	4,676	3,776
営業外費用	366	2,109
経常利益	35,315	29,149
特別利益	1,726	13,911
特別損失	555	1,109
税金等調整前四半期純利益	36,485	41,952
法人税等	10,953	9,936
非支配株主に帰属する四半期純利益	99	99
親会社株主に帰属する四半期純利益	25,432	31,916

当第2四半期連結累計期間は、前年同期比で増収、営業利益・経常利益は減益となりましたが、特別利益の計上により親会社株主に帰属する四半期純利益は増益となりました。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位:百万円）

科　目	前第2四半期（累計）自 2014年4月 1日 至 2014年9月30日	当第2四半期（累計）自 2015年4月 1日 至 2015年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 113,386	△ 30,732
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 11,456	△ 2,326
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 9,392	△ 2,731
現金及び現金同等物に係る換算差額	531	△ 4,471
現金及び現金同等物の増減額	△ 133,705	△ 40,262
現金及び現金同等物の期首残高	385,252	297,707
現金及び現金同等物の四半期末残高	251,547	257,444

当第2四半期連結会計期間末の連結ベースの現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前年同四半期連結会計期間末と比較し58億97百万円増加し、2,574億44百万円となりました。また、当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。
営業活動による資金は、税金等調整前四半期純利益が419億52百万円となりましたが、未成工事受入金の減少等により結果として307億32百万円の減少となりました。
投資活動による資金は、新事業分野等への投資等により23億26百万円の減少となりました。
財務活動による資金は、配当金の支払等により27億31百万円の減少となりました。

主要プロジェクトの状況

Subtopic

カタールにおける海岸清掃活動

当社は、天然ガス処理設備の建設現場が位置するカタールのペルシャ湾沿岸において、海岸に生息するウミガメの生態系を保護することを目的として、海岸清掃活動を継続的に実施してまいりました。毎回、ペットボトルや漁具、流木等、5トンから10トンに及ぶゴミを回収し、豊かな海洋環境の維持に貢献しております。この結果、カタール国営石油会社から感謝状をこれまでに2回いただきました。

今後も、当社はプラント建設国における社会貢献活動にも引き続き注力してまいります。

清掃活動の様子

清掃活動の参加者たち

日揮(JGC)グループ

当社、当社子会社50社および関連会社35社からなる日揮グループは、各種プラント・施設の計画、設計、建設、試運転役務に関する事業ならびにこれらに附帯する機材調達、検査・保守および各種情報サービスに加え触媒・ファイン製品の製造・販売等を営んでいます。

各事業における当社および主要なグループ会社の位置づけは、以下のとおりです。

▶総合エンジニアリング事業

設計・調達・建設
- ■ 日揮プラントイノベーション株式会社
- ■ JGC SINGAPORE PTE LTD（シンガポール法人）
- ■ JGC PHILIPPINES, INC.（フィリピン法人）
- PT. JGC INDONESIA（インドネシア法人）
- ■ JGC Gulf International Co., Ltd.（サウジアラビア法人）
- ■ JGC Gulf Engineering Co., Ltd.（サウジアラビア法人）
- JGC VIETNAM COMPANY LIMITED（ベトナム法人）
- JGC Algeria S.p.A.（アルジェリア法人）
- ■ JGC OCEANIA PTY LTD（オーストラリア法人）
- ■ JGC America, Inc.（米国法人）

検査・保守
- ■ 青森日揮プランテック株式会社

プロセスライセンシング
- ■ 日揮ユニバーサル株式会社

温室効果ガス排出権取引
- ■ JMD温暖化ガス削減株式会社

▶触媒・ファイン事業

触媒・ファイン事業
- ■ 日揮触媒化成株式会社
- ■ 日本ファインセラミックス株式会社
- ■ 日揮ユニバーサル株式会社

▶その他の事業

原油・ガス生産販売事業
- ■ JGC Energy Development（USA）Inc.（米国法人）
- ■ JGC Exploration Eagle Ford LLC（米国法人）
- ■ JGC EXPLORATION CANADA LTD.（カナダ法人）

機器調達
- 日揮商事株式会社
- JGC Italy S.r.l.（イタリア法人）

発電、造水事業
- ■ JGC-ITC ラービグユーティリティ株式会社
- ■ 日揮みらいソーラー株式会社
- ■ 鴨川みらいソーラー株式会社

情報処理サービス
- ■ 日揮情報システム株式会社

オフィスビル管理
- ■ 日揮ビジネスサービス株式会社

コンサルティング
- ■ 日本エヌ・ユー・エス株式会社

■ 連結子会社　■ 関連会社で持分法適用会社　2015年9月30日現在

会社概要（2015年9月30日現在）

●**設立**　1928年10月25日

●**資本金**　235億円

●**従業員数**　（連結）7,349名
（単体）2,373名

●**上場証券取引所**　東京証券取引所（市場第1部）

●**主要な事業所および事務所**

横浜本社　〒220-6001
神奈川県横浜市西区みなとみらい
二丁目3番1号
電話 045-682-1111

東京本社（本店）　〒100-0004
東京都千代田区大手町
二丁目2番1号（新大手町ビル）
電話 03-3279-5441

事業所　MMパークビルオフィス（神奈川県横浜市）
上大岡オフィス（神奈川県横浜市）

研究所　技術研究所（茨城県大洗町）

事務所　国内　大阪事務所
海外　北京、ヤンゴン、ジャカルタ、パース、アブダビ、ドーハ、クウェート、バスラ、バグダッド、アルマティ、モスクワ、パリ、アルジェ

日揮IRサイトのご紹介

http://www.jgc.com/jp/05_ir/index.html

●**取締役**

代表取締役会長	佐藤雅之
代表取締役社長	川名浩一
取締役	山﨑裕
取締役	赤羽根勉
取締役	三浦秀秋
取締役	佐藤諭志
取締役	三好博之
取締役	鈴木正徳
社外取締役	遠藤茂

●**監査役**

常勤監査役	清水幸比古
常勤監査役	佐久間稔※
常勤監査役	島田豊彦
監査役	森雅夫※
監査役	大野功一※

●**執行役員**

副社長執行役員	山﨑裕※※
副社長執行役員	赤羽根勉※※
常務執行役員	三浦秀秋※※
常務執行役員	佐藤諭志※※
常務執行役員	福山裕康
常務執行役員	北川均
常務執行役員	百瀬泰
常務執行役員	日高丈仁
常務執行役員	三好博之※※
常務執行役員	武藤一義
常務執行役員	保田隆
常務執行役員	高橋直夫
常務執行役員	山﨑憲一
執行役員	阿部茂
執行役員	樗澤博
執行役員	野村徳太郎
執行役員	小林重夫
執行役員	西田吉克
執行役員	西口久和
執行役員	小堀孝浩
執行役員	岡﨑泰俊
執行役員	加藤眞人
執行役員	小林信裕
執行役員	奥田恭弘
執行役員	野原延孝
執行役員	吉田明朗
執行役員	雨宮徹
執行役員	鈴木正徳※※
執行役員	遠藤方泰
執行役員	寺嶋清隆
執行役員	田中裕次
執行役員	松岡孝哉
執行役員	藤井丈夫
執行役員	林晃光
執行役員	秋鹿正敬

※社外監査役　※※取締役兼務

株式の状況（2015年9月30日現在）

●**株式数**　発行可能株式総数　600,000,000株
発行済株式総数　259,052,929株

●**株主総数**　14,397名

●**大株主**

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	19,859	7.66
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	16,576	6.39
日揮商事株式会社	12,112	4.67
株式会社三井住友銀行	11,000	4.24
公益財団法人日揮・実吉奨学会基本財産口	8,433	3.25
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	5,935	2.29
株式会社みずほ銀行	5,700	2.20
BBH FOR VANGUARD INTERNATIONAL VALUE FUND - ARGA	3,533	1.36
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) SUB A/C AMERICAN CLIENTS	3,200	1.23
BBH FOR DEUTSCHE CROCI INTERNATIONAL FUND	3,116	1.20

注1. 持株数は千株未満、持株比率は小数点第3位以下をそれぞれ切り捨てて表示しております。
注2. 当社は自己株式6,738千株（2.60%、第6位）を保有しておりますが、上記表中からは除外しております。

●**株式の分布状況**

※小数点第3位を四捨五入しております。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
基準日	3月31日　※中間配当は実施しておりません。
定時株主総会	6月下旬
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部　〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 お問合せ先：0120-232-711　各種お手続き用紙のご請求：0120-244-479 インターネットアドレス：http://www.tr.mufg.jp/daikou/
公告の方法	電子公告により、当社ウェブサイト（http://www.jgc.com/）に掲載します。 なお、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載します。
証券コード	1963